

事業者選定アドバイザー

● 背景・目的

入札に関しては、競争性・透明性を高め、公正・公平性が確保されるような入札・契約を実施する観点から、総合評価型一般競争入札により行うことが主流となっています。総合評価型一般競争入札では学識経験者、専門家、行政幹部、担当部局職員等で構成される事業者選定委員会を設置し技術面、価格面で優れた提案を行う事業者を選定します。

また、PFI法施行後は民間事業者の資金調達力、設計、建設、管理運営のノウハウを活かし、リスク分担を図りながら施設整備・運営を一括して発注する事業方式を採用する自治体が増加しています。

事業者選定アドバイザーは、各種の事業方式において、請負者あるいは委託事業者を選定する際に必要となる様々な業務を網羅しており、事業が契約まで適切な手順で円滑に推進するよう支援する業務です。

● 検討のポイント

(1) 入札公告

廃棄物処理・リサイクル施設建設工事に関して、入札手続きの開始並びに必要な提出書類などを求めるために必要となる、入札公告、入札説明書、落札者選定基準、発注仕様書あるいは要求水準書、様式集などの作成を行います。また入札公告に関して入札参加希望者から提出された質問への回答を行います。

事業方式に応じて提出物の内容は異なり、PFI等の民活手法では、基本協定書、建設請負契約書、運営管理委託契約書等も公表します。

(2) 資格審査

入札説明書に従い入札参加希望者から提出された資格審査申請書に関して審査を行い可否の判定を行います。

(3) 提案図書の内容審査

資格審査に合格した入札参加者から提出された技術提案書、設計図書、入札書などに関して内容の確認を行いません。

● 業務構成（検討手順等）

(1) 入札公告

- ・入札広告等の作成
- ・入札参加希望者からの質問への回答

(2) 資格審査

- ・資格審査を行い可否を判定する

(3) 提案図書の内容の審査

- ・提案図書の内容を確認する

(4) 総合評価

- ・技術提案内容、入札金額などを点数化
- ・優先交渉者の決定

(5) 契約

- ・仮契約後、議会の承認を受け落札者を決定
- ・優先交渉者との内容確認、意見調整等の支援

(6) 事業者選定委員会

- ・事業者選定委員会が公平かつ円滑に行われるよう支援する

※発注者の意向に応じて手順は柔軟に対応します。

● 検討のポイント（続き）

（４）総合評価

落札者選定基準に従い技術提案内容、入札金額などを点数化し、各委員からの評価店を集計し総合的に評価点の高い入札参加者を優先交渉権者とします。

PFI等の民活手法では、運転管理を長期的、包括的に委託するため、資金繰りや経営能力、維持管理能力、サービスの質、バックアップ体制、地元雇用など様々な角度から審査を行います。

（５）契約

仮契約後に議会で承認を受け、落札者（請負者、委託事業者）が決定します。

契約段階における優先交渉権者との内容確認、意見調整に関しても事業者選定アドバイザーが支援します。

（６）事業者選定委員会

事業者選定委員会は、入札方式、落札者選定基準の検討、資格審査、設計図書の確認、技術提案・入札金額の審査、総合評価・優先交渉権者の選定など事業者選定に係る主要な段階で開催します。

事業者選定アドバイザーは、事業者選定委員会が公平に円滑に行われるよう資料作成、進行補佐、質問回答、評価のアドバイスなど様々な業務を行います。

PFI等の民活手法では、必要な性能の確保、安全で安定した事業運営の推進を図るため、技術、法務、財務に優れた担当者が事業者選定の進行を支援します。

● 当社の提案のポイント

- 事業者選定アドバイザーは、事業者選定委員会の意思決定を促す上で欠くことができない存在であり、経験豊富な株式会社日水コンの技術者の起用をお勧めしたい。
- また、ごみ処理事業に民活手法が導入される以前から水道や下水道事業では民活手法が導入されており、株式会社日水コンは、民活手法導入で培った技術、経験を活かして、廃棄物処理・リサイクル施設の民活手法による整備・運営事業の発注支援も円滑に進めることができます。

● 事業者選定アドバイザー関連業務の実績

受注年度	発注者	業務名称
平成 26 年度	秋田県北秋田市	クリーンリサイクルセンター焼却施設建設工事発注支援業務委託
平成 27 年度	東埼玉資源環境組合	汚泥再生処理センター建設・運営事業発注支援委託
平成 28 年度	秋田県北秋田市	クリーンリサイクルセンターエネルギー回収推進施設等長期包括的運転管理業務委託に係る発注支援業務委託